

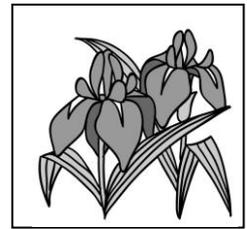


令和3年度

横浜市立生麦小学校

学校だより

横浜市鶴見区生麦4-15-1 学校長 沼田 留美子
<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/namamugi/>



5月（皐月）

こ かがや 子どもの輝き

こうちょう ぬまた るみ こ
校長 沼田 留美子

校庭の木々は新しい葉を茂らせ、明るい初夏の日差しをたくさん浴びています。初めての
こと、新しいことがいっぱいだった4月があっという間にかけて抜けていきました。あわただしい中にも
子どもが学校に集っていることの喜びをひしひしと感じる5月です。

年度初めは一年のうちで一番自分を高めようと張り切る姿がたくさん見られます。1年生は
大きく見えるランドセルを背負って、元気よくあいさつをして登校してきます。入学式でお伝えし
た「元気にあいさつやへんじ、よく聞いて、よく見て友達づくり」のお話を実践しているようです。
その教室では、6年生が1年生の手伝いをしています。1年生もニコニコしています。6年生に
「大変ですか。」と声をかけると笑顔で「楽しい」という答えが聞かれ、心強く感じました。別
の場所では、涙を流している子がいました。たまたま近くにいた、いろいろな学年の子どもたち
が自然に集まり、「私、一緒に行きます。」とあって、教室まで送っていく後ろ姿に心が洗わ
れるようでした。子どもたちによる委員会活動も始まりました。委員会は学校生活全体のことを
考え、楽しく豊かにしていく活動で、5、6年生が活動内容を分担したり、協力したりし、一人ひ
どりが責任をもって役割を果たします。当番の日に教え合いながら、懸命に仕事に取り組んで
いる姿があちらこちらで見られました。「立場が人を育てる」という言葉がありますが、まさにそ
の通りです。子どもたちのひたむきな姿はキラキラ輝いています。

子どもたちの輝きは一人ひとり違った場面で見られます。その輝きをお互いに認め合い、
励まし合い、高め合う中で人として成長していきます。4月は様々な場面で少し背伸びして
頑張ってきたことがたくさんありました。どの学級も子ども同士が支え合って学校生活を送ること
ができ、誰もが大切にされていたように感じます。このことが子どもたちの自己肯定感を高め、
暖かな雰囲気の中で学級や学校を創っていく素地になります。「いいな、自分」という場面
がたくさん見られる令和3年度の生麦小学校にしてみたいです。